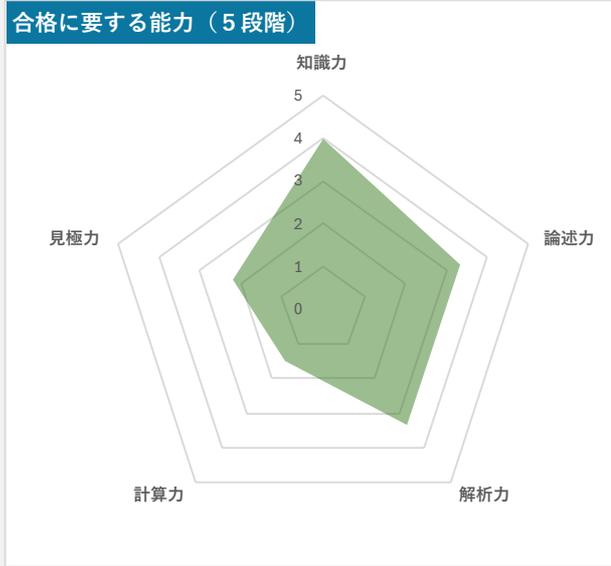


総合分析

試験区分	一期
------	----

制限時間	70分(理科2科140分)	大問数	全4問
------	---------------	-----	-----



出題分野

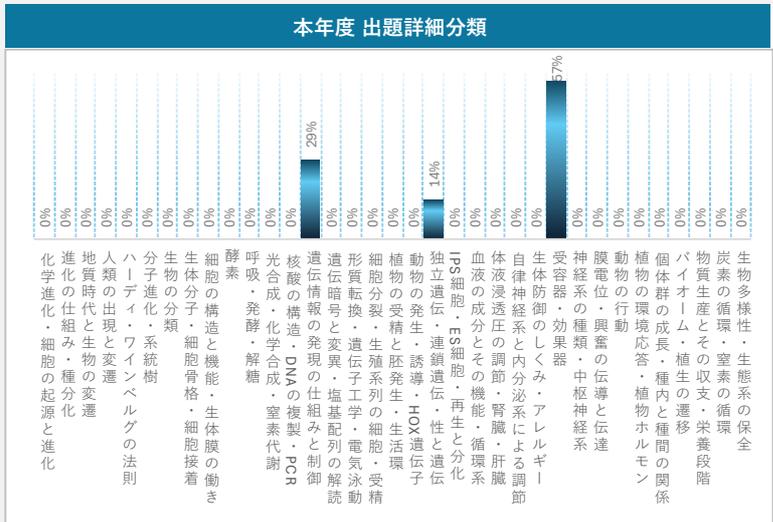
系統と進化	0%
生命現象と物質	0%
遺伝子	29%
生殖と発生	14%
生物の環境応答	57%
生態	0%

本年度 解答形式

論述	86%
答	14%

本年度出題テーマ一覧

第1問	自家受精, に遺伝子雑種, 染色体地図
第2問	筋肉の構造と筋収縮のコントロール
第3問	DNAの研究史
第4問	視覚器



合格に要する能力 (5段階)

知識力	3.8	出題分野の幅広い知識を有するか
論述力	3.1	設問の指定に沿って的確に記述する力
解析力	3.1	図表データなどから分析・解析する力
計算力	1.3	式を組み立て, 正しく計算する力
見極力	2.0	難度を判断し, 適切に時間配分する力

特殊問題の有無	数理生物学なし	生物物理なし	ノーベル賞なし	範囲外問題なし	長文論述なし
---------	---------	--------	---------	---------	--------

特記事項 特になし

総合評価

難度	2.7	最難を5とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率(予想)	77%
分量	55分	完答に要する時間(制限時間は70分)	やや少ない	高い正答率を要する	

入試の特徴と対策

- ▶ 大問ごとにテーマが一貫している。分野を横断する融合的な大問がほとんどない。
- ▶ 定石的・定型的な問題が多い。

入試から見る 大学が求める学生像

昭和医科大学は単科医大なので出題分野が動物分野に偏っているのが特徴である。医学生物学を学習していなければ解けない問題は出題されないものの, やはり動物生理分野は強化しておいてもらいたいという大学のメッセージと考えられる。